



が付けられていたり、障害に  
対応できている。特別なバ  
リアフリーの施設も災害  
が起これば崩れるかもしれ  
ません。そうなった  
たときに対応できるような  
避難所や地域の協  
力体制を考えることが大切  
だと思います。  
今までは、災害について  
あまり考えること  
はなかったけれど、この「  
四国防災八十八話  
」を読んでも、災害の大変  
さだけでなく、今までの  
私たちが考えたことのな  
かった災害時の障害者の  
方たちのことを考えること  
ができませんでした。  
障害のある方の本気の持  
ちはわからないかも  
しれません。その立場に立  
って少しでも行  
動ができればと思います。  
父にも災害について聞いて  
みました。「強  
い台風で家の屋根の瓦が飛  
んだ。」と教えても  
らいました。「身近な話に  
怖いなと思います」  
約五十年後、「南海大地震」  
が来ると言わ  
れていきます。「その時に  
、慌てず、冷静に避難  
し、できるならば障害の  
ある方の役に立っている

人間でありたいと思っています。